

第70回 千葉市放置自動車廃物判定委員会

1 日 時：令和7年11月13日（木） 10時00分～10時30分

2 場 所：千葉市役所高層棟3階 M会議室301

3 出席者：（委員）

浜島委員長、江口副委員長、小池委員、山口委員、板橋委員、
荒井委員、仙波委員

（事務局）

参与：千葉県警察本部 千葉市警察部 総務課
工藤係長（代理出席）

事務局長：環境局資源循環部 武部長

収集業務課：天野課長、石井主査、鶴岡主事
（所管課）

収集業務課：天野課長、石井主査、鶴岡主事
（傍聴人） 0人

※委員7名中7名が出席したため、本委員会は成立。

4 議 題

- （1）委員長の選任
- （2）議事録署名人の選出
- （3）前回判定委員会審議物件の処理経過について
- （4）廃物判定にかかる審議
- （5）その他

5 議事の概要

- （1）委員長の選任
委員の互選により、浜島委員が委員長に、江口委員が副委員長に選任。
- （2）議事録署名人の選出
委員の互選により、浜島委員長が議事録署名人に選任。
- （3）前回判定委員会審議物件の処理経過について
事務局から第69回放置自動車廃物判定委員会審議物件の処理経過について報告。

(4) 廃物判定にかかる審議

第1号議案(1台) 廃物判定基準による処分の承認について

	整理番号 20250001
鶴岡主事(説明)	通報発見から調査結果に至るまでの経緯及び放置自動車の状態について説明(調査個票のとおり)
小池委員(質問)	当該車両はどこから現放置場所に持ち込まれたか判明しているか。
鶴岡主事(回答)	放置場所については1995年頃から新しい衛生センターが稼働を開始した影響で、利用がされていない土地となっており、現在までの約30年間の間でいつ放置されたのかが不明な車両となっている。そのため現放置場所に至るまでの経緯は一切不明である。
浜島委員長(発言)	写真を確認する限り腐食や破損が大部分を占めているため、走行はできないものと思われる。他に意見はあるか。
荒井委員(質問)	車両が放置されていた場所はどういうところにあるのか。
鶴岡主事(回答)	場所としては沿岸部に位置しており、周囲は工場等はあるものの、住民等は殆ど居住していないような地域となっている。
荒井委員(質問)	処分費用はどこの部署で負担しているのか。
鶴岡主事(回答)	収集業務課が庁内の放置自動車について案件を纏めているため、収集業務課にて処分に対する予算を措置し、執行している。
荒井委員(意見)	放置自動車は多くの市民が生活をしている中で、どうしても発生してしまうものではあるが、処分費用の原資については市民の税金であるため、最終的に処分せざるを得なくなる前に、所有者自身に処分を行わせるよう、より一層調査に励んでほしい。
浜島委員長(質問)	当該車両に関する通報が令和6年2月9日にあり、その後、同年3月19日に軽自動車検査協会に所有者に関する照会に関して該当がない旨の回答を受け取っている。その内容を踏まえ、千葉中央警察署に犯歴等の照会を行い、これもまた同年5月9日に該当がない旨の回答を受け取っている。令和6年中に本委員会を開催しなかったのはなぜか。
鶴岡主事(回答)	当該車両の放置場所には、庁内の他部署が売り払い用の車両や、市道から撤去してきた車両の一時保管場所と

なっている。同じ敷地内に放置車両として他部局が調査を行うために一時保管している車両が複数台あり、所管課にて調査を行っていた。当該案件の車両は利用されていない市所有の敷地内に存在していることから、緊急性は低いと判断し、他案件と纏めて審査会に付議を行うべく、他案件の調査が完了するまで審査会の開催日程に猶予を設けていた。最終的に調査の結果、当該案件以外は所有者を見つけ処分をさせることができたが、猶予を行っていた関係で令和6年度中に委員会を開催することが出来なかった。

山口委員（質問）

車台番号について軽自動車検査協会に対して照会を行ったが判明しなかったとのことだが、判明しなかった理由は。

天野課長（回答）

登録がかなり古いため、記録が残っていなかったとのことだった。

仙波委員（意見）

所感になるが、一昔前は放置自動車が大量に発生しており、委員会への付議案件も大量にあったと記憶している。年々審査すべき案件が減ってきているのは、担当部署での調査がより厳しくなっているからだと思われる。引き続き励んでほしい。

江口副委員長（意見）

仙波委員と同様ではあるが、市で処分をする放置自動車が減少していることは喜ばしい。引き続き調査に励んでほしい。

問い合わせ先 千葉市環境局資源循環部収集業務課
TEL 043（245）5249
FAX 043（245）5477